

◎第7回 豊丘村リニア対策委員会 を 平成29年5月10日（水） 午後7時～ 保健センター2F にて開催しました。

- 委員出席者数 32名 ○長野県 2名 ○JR東海 13名 ○中部電力 8名 ○豊丘村 8名
- 傍聴者数 26名

1. 開会 屋神総務課長
2. 村長あいさつ
3. 正副会長の選出 会長 市瀬 憲 河野区長（区長会長） 副会長 北澤 貢 林区長（区長会副会長）
4. 会長あいさつ
5. 事業関係者等あいさつ
 - 長野県 リニア整備推進事務所 栗林調整課長 ○JR東海 中央新幹線推進本部 澤田部長 ○中部電力 用地部 リニア関連送変電グループ 永井統括部長

6. 協議・報告事項

(1) JR東海より

- リニア中央新幹線計画の概要説明と進捗状況等の説明
 - 1) 事業概要・工事概要・工事に使用する道路の計画・工事用車両の運行計画及び安全対策について
 - 2) 環境保全(トンネル掘削と発生土置き場)について
 - 3) その他
- 質疑応答

対策委員会での質問・意見・要望	事業者等の回答（JR東海等）
<p>①処分地の安定確保 道路土工-盛土工指針に準拠しているが、これは道路改良等を対象にしているもので谷埋め盛土を想定していない。よって、三次元解析などの手法により検討すべきだ。</p>	<p>⇒本山発生土置き場の安定性の検討については、長野県の指導により、道路土工盛土工指針及び宅地防災マニュアルに準拠し二次元解析による円弧滑り及び複合滑りの検討を行っています。これらの解析手法は、従来より道路盛土や宅地盛土の設計に広く用いられている信頼できる実績のある手法です。なお、道路土工盛土工指針につきましては、谷間を埋める盛土の検討についても記載されております。当該地においても、安定解析手法は適用できるものと考えています。一方、三次元解析については、大規模盛土造成地の滑動崩落対策推進ガイドラインにも記載されておりますが、一般的に二次元解析よりも安全率が高くなる傾向があります。よって、三次元解析より二次元解析の方が、より安全側の設計になります。したがって今回の盛土設計では、二次元解析を用いて、より安全側の設計をしています。</p>
<p>②土地の安全性の事後調査 地下水を集水する有孔管は、花崗岩の粉碎土砂のため長期的には必ず目詰りする。これにより地下水位が上昇し大地震時には崩壊の危険性が増す。よって次の地下水位監視体制が必要。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①地下水位観測井戸の多数設置 ②間隙水圧観測孔の多数設置 ③上記措置には記録用センサーを設置し、結果を公表する。 	<p>⇒暗渠工の目詰まり防止対策については、施工の手引き等に準拠した目詰まり防止剤（フィルター）の設置や、碎石での埋戻しを行います。暗渠工は現状地盤と盛土の境界のみでなく、盛土の途中にも設置し2重系化しています。地下水の監視については、発生土置き場造成後の管理の中で、盛土の点検、調整池の浚渫、水路の清掃に加えて地下水位等の観測も実施していきます。地下水位を観測する事によって地下水位による水圧、すなわち間隙水圧も把握できる事となります。観測方法や観測位置等の詳細については、管理項目と併せて関係者と協議調整し決めていきます。</p>
<p>③調整池 調整池は洪水調整機能も備えることから、適切に浚渫工事を行うこと。</p>	<p>⇒調整池に堆積する土砂については、適切に浚渫を行い機能確保に努めます。</p>
<p>④土砂流失の危機管理 発生置き場の管理は、埋め立て土砂を置いている期間、事業者責任のもとで行うこと。</p>	<p>⇒発生土置き場の造成期間中は、事業者責任のもと土砂流失等が無いように、請負業者を監督指導していきます。造成完了後は、事業者である JR において管理を行っていきます。管理期間は村と地権者と十分協議を行い、適切な期間を設定していきます。</p>

<p>⑤坂島工区トンネル残土の埋め立て計画について、長野県知事は助言を JR 東海に出している。現時点では、JR 東海は未だ回答を出していないが、5 月中には回答すると報道されている。JR 東海旅客鉄道の回答後、速やかに対策委員会を開催し、JR 東海旅客鉄道からの詳細な説明をしていただくよう求めます。また、全村民対象の説明会も開催することが必要と思われるので併せて申し入れます。</p>	<p>⇒(JR より)「豊丘村内発生土置き場（本山）における環境の調査及び影響検討の結果について」の長野県からの助言に対して事業者の対応方針を提出します。その後、対策委員会において報告をさせていただく事を考えています。また、これらを踏まえまして、本山発生土置き場に関しては、改めて関係者へ説明させていただくよう考えています。説明の方法については、豊丘村と調整させていただきます。</p>
<p>⑥本山生産森林組合の残土処分地使用の同意、及び保安林解除への同意の件に付いては、5 月 3 日付読売新聞の記事で報道されているが、「3 月 3 日開催の本山生産森林組合の総代会は無効」とまで断じている。本山生産森林組合の指導監督権限を有する長野県の見解と今後について説明をお聞きしたい。</p>	<p>⇒(長野県より)森林組合法に基づきますと、本山生産森林組合の行政監督庁は長野県で林務部の所管となります。林務部の話によりますと、総代会については、定款に定めが無い為、無効であろうと言う考えです。土地の使用については、重要な事案である為、総会において意思決定されるよう指導しています。</p> <p>⇒(本山生産森林組合長より)県とも相談しており今後どうしていくか検討しています。新聞に出ていたような内容は、私は承知しておりません。この事は生産森林組合の発足からの経過があり、当初は大正 6 年発足の本山更生会として誕生し、県や村の指導があって、昭和 47 年に生産森林組合へ移行しておりますが、当時の役員の皆さんの理解不足からか、四十数年間も本山生産森林組合の定款でなく、本山更生会の定款で事業運営してきたと言う現状です。実際にそう引継されてきていました。この事は現役員も最近になって初めて知ったことです。意識的に総代会を開催してきたわけではありません。私たちの理事会の中で、本山更生会の定款で運営してきたという深い反省があり、県の指導をいただき、法に違反している部分がある事が理解できたので、指導のとおり総会を開催する事としました。しかし、森林組合法と今生きている本山生産森林組合の定款では、生産森林組合の業務は理事会で決定できる事となっているので、私たちは理事会で決定したことを、総代会へ報告をしてきたと解釈しています。今回の総会では、議案として提出し、出席した皆さんの承認を得るよう指導がありましたのでその通りにしてまいります。法に準じた方向に持っていく事は、私たちの使命と思っています。しかし、多くの投書や電話など様々のご意見を伺います。その中には、かつて理事や監事をやって来た方もいらっしゃって非常に残念な気持ちであります。リニア計画に私は夢を持っています。どうか村を二分するような、お互いを批判中傷したり、デタラメなニュースを出したりする事無なく、日本のために地域のために豊丘のために、みんな一生懸命やろうじゃありませんか。</p>

(2) 中部電力より

○リニア中央新幹線への運転用電力供給事業の進捗状況等の説明

- 1) リニア工事用電源の供給のための配電線工事について、林道大島蛇川線の電柱工事を 5 月下旬から実施したい。
- 2) 下伊那変電所(佐原)について 造成計画説明。変電所よりの送電計画説明。
- 3) 国有林内の鉄塔 5 基の地質調査方法時期の説明

○質疑応答

対策委員会での質問・意見・要望	事業者等の回答（中部電力）
<p>⑦工事業者は決定しているか？ また、その業者の従業員宿舎などの計画は？</p>	<p>⇒まだ請負業者は決まっていません。変電所工事を平成 30 年着手予定としていますが、来年あたりの請負業者決定となり、送電線工事がその翌年頃決まると思われます。事務所等の位置は決定していません。</p>
<p>⑧JR資料とリンクした、もう少し位置関係が解りやすい資料を作っていただきたい。</p>	<p>⇒スライドで、変電所、送電線の説明。次回リンクした解りやすい資料を提示します。</p>
<p>⑨地区の鉄塔建設説明会の折りに、村道月の木線の拡幅や水道施設への対応を要望した。説明してほしい。</p>	<p>⇒福島区については、概要の説明をさせていただいております。その中での要望については、記録にもありますので、今後確認をしながら道路利用させていただきたいと思っております。その際は協議をお願いします。</p>

⑩変電所の敷地からの雨水について、降水量と集まる水の量について予測値があるのか？ あれば資料提供いただきたい。	⇒現在設計を進めているところです。JRの説明と同様長野県の基準に従い設計していきます。時間 100mm～130mm 程度の雨量、調整池の容量は 5,000 m ³ ～7,000 m ³ となります。
---	---

(3) 長野県より

○リニア中央新幹線事業の進捗状況等の説明

長野県は、リニア本線工事の用地交渉契約業務を受託しています。坂島非常口については契約締結が完了しました。戸中非常口については、契約に至っていませんが、早い時期に契約できるように交渉を進めております。

(4) 豊丘村より

○今後の進め方

確認文書の取り交わしについて

「中央新幹線建設に伴う豊丘村内における道路改良工事及び工事用車両通行等に関する確認書」の原案について説明。

本山発生土置き場候補地については、保安林解除等について JR で進めています。候補地が認められると言うのは、林野庁の保安林解除ができないと発生土処分は行えません。そこで、坂島のヤード整備と道路改良、工事用車両の運行については別と村では考えています。そのための「確認書」を取り交わすよう原案をお示ししました。運行路となる林区、田村区の皆さんとも協議を進めた上での原案となっています。〔条文内容概略説明〕

本日ご質問をいただきますが、各団体へ持ち帰ってご協議いただいたうえで、再協議させていただきたい。

坂島工区についての確認書である。県道長沢田村線については、長野県の管理となる為、入れていません。

○質疑応答

対策委員会での質問・意見・要望	豊丘村・事業者等の回答（JR 東海）
⑪内容でなく、締結までのスケジュールはどう考えていますか？	⇒(豊丘村より)次回のリニア対策委員会を 2 週間後くらいに実施させていただきたい。5 月 26 日に実施したいと考えています。その日に、ご意見を頂戴して詰めていきたいと考えています。質問事項は、5 月 23 日までに村のリニア対策室へお寄せいただきたい。

○トンネル等工事に向けた道路改良工事について

村の考えとして、今回原案を提示している「確認書」について対策委員会として了解であると言う確認が取れたら、JR との間に締結していきたい。そうしましたら道路改良などの工事着工に了解したとしたい。

市瀬会長(司会) ご意見は？ では了解したと言う事にさせていただきます。

○本山発生土置き場予定地の今後の進め方について

「豊丘村内発生土置き場（本山）における環境の調査及び影響検討の結果について」長野県からの助言に対して、JR により回答をまとめています。これについて示されましたら、JR に説明いただき、リニア対策委員の質疑等の内容を確認する中で、保安林解除申請の村の意見書を出していきたい。期限は特に決めていません。

JR 澤田部長 現在回答を作成中です。県への報告の日付はまだ決めていません。長野県に報告した後に改めて報告（説明）したいと思います。

市瀬会長(司会) ご意見は？ ではご承知いただきたい。

次回 リニア対策委員会開催予定 5 月 26 日（金）19:00～ としたい。確認 了承

8. 閉 会

○終了時間 午後 9 時 05 分